



たばこの害から子どもを守ろう!

知って欲しいたばこの害

たばこの煙には 5,300種類以上の化学物質が含まれており、その中でも健康に影響を及ぼす可能性のある物質は 200種類以上とされています!

三大有害物質

- ★ニコチン・・・血管を縮める作用があり、血流が減り低酸素状態に。依存症の状態を作り出します。
- ★一酸化炭素・・・血管の内壁を傷つけ、「血栓」という血の塊を作りやすくします。
- ★タール・・・60~70種類の発ガン性物質を含みます。

受動喫煙

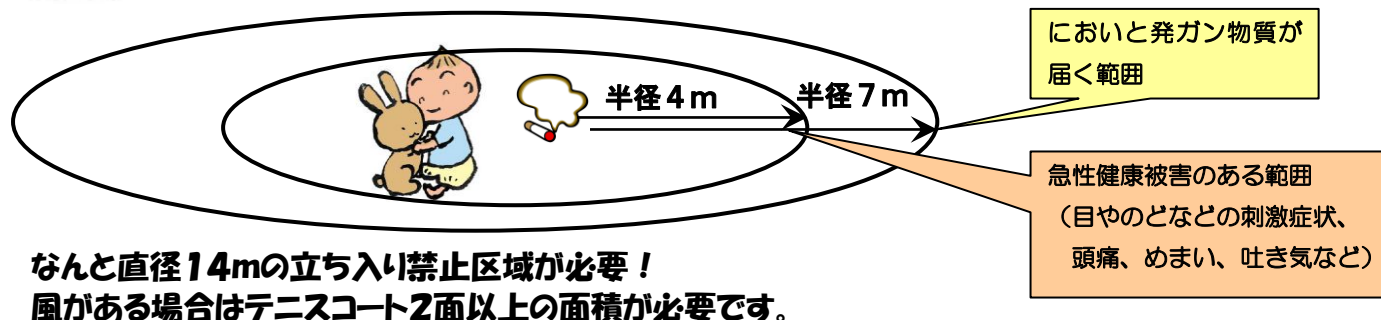
たばこを吸わない人が、たばこから出る煙や吐き出された煙を吸わされることを**受動喫煙**といいます。たばこの先から出る煙(副流煙)には、喫煙者が吸い込む煙よりも多くの有害物質が含まれています。

たばこを吸った直後の喫煙者の吐く息や、衣類からのたばこ臭にも有害物質が含まれます。

喫煙者だけでなく、周囲の人にも健康上の影響があります。



たばこ煙の粉塵と、発がん物質はどこまで届く?(風の無い時)



なんと直径14mの立ち入り禁止区域が必要!
風がある場合はテニスコート2面以上の面積が必要です。

子どもへの影響は?

- ★乳幼児突然死症候群 (SIDS) の危険性が増す。
- ★気管支炎や喘息になりやすい。
- ★身長、体重の伸びが悪くなる。

たばこと母乳

母乳は、お母さんの血液から作られます。お母さんがたばこを吸うと、血液中のニコチンが母乳に移行し、赤ちゃんが下痢をしたり、脈が速くなったり、また、興奮して落ち着きのない状態になったりする「ニコチン中毒」の症状が起こります。

たばこと事故

乳幼児期の家庭内での事故をみると、たばこを口に入れたり、やけどなどたばこにまつわる事故が多く発生しています。たばこ1本の中には、子どもが食べれば死んでしまう量のニコチンが含まれています。

たばこや灰皿のない家庭環境をつくりましょう。



子どもの周囲は禁煙に!